

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2017 年 7 月 25 日

野村不動産株式会社

府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業 「商・公・住」一体型の複合再開発プロジェクト 『プライド府中ステーションアリーナ 竣工』（総戸数 138 戸）

野村不動産株式会社（本社：東京都新宿区/取締役社長：宮嶋 誠一）は、京王線「府中」駅直結の複合再開発プロジェクト『プライド府中ステーションアリーナ』（総戸数 138 戸）が竣工いたしましたのでお知らせいたします。



【現地写真（京王線「府中」南口駅前）】

建物上部：プライド府中ステーションアリーナ

1.本プロジェクトの概要

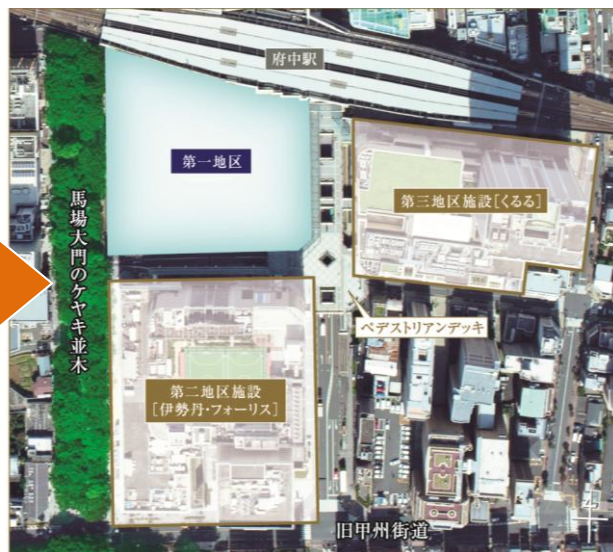
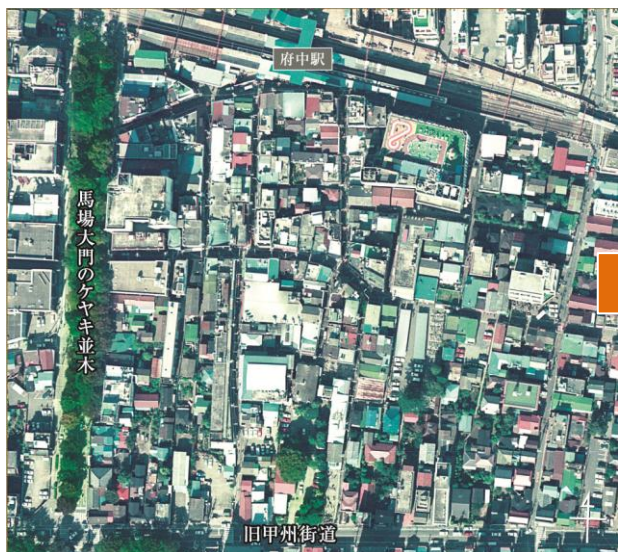
本プロジェクトは、87 店舗からなる商業施設ゾーン「SHOP PODS」、市民活動センター「プラッツ」をはじめ「府中市立府中の森芸術劇場分館」が入る公共公益施設、そして 138 戸の住宅(プライド府中ステーションアリーナ)が一体となった複合再開発施設となります。当施設は、フランス語で「萌(きざ)し、予感」を意味する名称「ル・シーニュ」とし、府中市の表玄関として地域全体の活性化を目指しています。7/14 には、「ル・シーニュ」の開業式典が開かれ、商業ゾーンである「SHOP PODS」がオープンいたしました。

2.府中南口再開発事業

府中駅南口地区は、安心して買い物ができる中心市街地、さらには広域的な中心商業地区として魅力ある街を目指して 1982 年に府中駅南口地区第一種市街地再開発事業の都市計画決定が行われ、1996 年に第二地区の「伊勢丹・フォーリス」が完成、2005 年に第三地区の「くるる」が完成し、最終街区となる第一地区は 2011 年に再開発組合の設立が行われ、2013 年に権利変換変更認可を経て本年完成となりました。当社は、特定業務代行者及び参加組合員として事業参画し、再開発組合や行政と一丸となり事業を推進してまいりました。

あしたを、つなぐ

PRESS RELEASE



3.当社グループの役割

特に本プロジェクトでは、ジオ・アカマツが商業コンサルタント、野村不動産パートナーズが管理会社として事業に参画しており、野村不動産グループ一体となり再開発事業に参画いたしました。野村不動産ではこのような実績を踏まえ、再開発事業に積極的に取り組み、当社グループの開発・運営・管理などの総合力に対応し、企業理念にも掲げた、^{あした}未来につながる街づくりに取り組んでまいります。



【ケヤキ並木通り沿いの「ル・シーニュ」】



【「ル・シーニュ」の開業式典】



【「ル・シーニュ」の開業を待つお客様】

あしたを、つなぐ

PRESS RELEASE



【府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業 駅前周辺地図】

【プライド府中 ステーションアリーナ物件概要】

所在地	東京都府中市宮町一丁目100番地
構造・規模	SRC造 地上15階 地下4階建て
交通	京王線「府中」駅 徒歩1分
敷地面積	6,731.62㎡
総戸数	138戸（非分譲住戸27戸含む）
間取り	2LDK～4LDK
専有面積	63.01㎡～102.51㎡
売主	野村不動産株式会社
設計・監理	I N A・清水建設設計共同企業体
施工	清水・京王・横沢建設共同企業体

あしたを、つなぐ